

このページは、小・中学生に向けて、小学生によるさまざまな仕事体験を紹介し  
ます。記事は梅光学院大学子ども学部子  
ども未来学科の学生が作っています。

# しものせき キッズページ

## 消防署でお仕事体験!! 2



8月号の参加者(前列左から)山の田小学校6年の松田祐輔くん、本村小学校5年の小西伶音くんと編集記者(後列中央から右に向かって)萩原明日香さん、真栄田あかりさん



火消鯨

まずは火消鯨。火消鯨は、地震や火事が起きたときにどう行動すればいいのか、体験しながら学べる場所なんだ。小学生の2人も緊張しながら、職員さんの説明をしっかりと聞いていたよ。地震の怖さや地震のときの対処法を覚えてくれる映像も見てきたよ。

消火体験



説明を聞いた後は消火器を使って消火体験! ストップに落ちて火が付いたタオルの映像が流れるモニターに向けて放水。炎にかけ物には消火剤をかけることが大事だと学んだよ。



避難体験

次は、煙がいつぱいの真っ暗な部屋でどう逃げるか、避難体験をしてきたよ。煙は、ちよっと吸うだけで意識を失うから、吸い込まないよう口を布などで押えて逃げるのが大事だね。  
逃げるときには、「おさない」、「はしらない」、「しゃべらない」、「もどらない」ことも忘れずにね!

放水体験



外に出て放水体験。2人は防火服を着せてもらって、消防士気分を放水したよ。本気で水を出したら人が吹き飛ばすくらい威力があるんだって。



救助訓練

最後に、ロープを使って救助訓練をしたよ。消防士さんたちは腕の力だけでロープを登ることができた。小学生の2人もチャレンジしたけど、登るのは難しかったみたい。私たちがやってみたらど無理でした。やっぱり消防士さんって日ごろからすごいトレーニングしているんだね!

今回の仕事体験で、消防士さんたちは、普段からしっかりとトレーニングして、いざというときに備えてくれていることが分かったよ。消防士さんたちがいるから私たちは安心して暮らせるんだね。災害や火事は起きない方がいいけれど、いつ誰の身に降り掛かるかわからないよね。私たちが普段からできることはしっかりと準備して生活していかないといいね。

